

評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ケアする力

[31-新人]「がん」の基本的病態生理

1. 発がんの要因には、どのようなものがあるか考えてみましょう。

- 老化による遺伝子の変化
- 加齢に伴うホルモンバランスの変化
- 生活環境(ストレス)
- 環境因子(発がん物質)の蓄積
- 免疫低下による感染症

2. がんの身体症状には、どのようなものがあるか考えてみましょう。

がんの種類	おもな身体症状
肺がん	早期症状なし。咳、痰、血痰、呼吸困難、胸痛、発熱
乳がん	乳房のしこり、皮膚のくぼみ・引きつれ、乳頭からの分泌物
食道がん	のどの違和感・痛み、食物のつかえ感
胃がん	早期症状なし。胸やけ、胃痛、出血
大腸がん	部位により症状が出にくい場合あり。血便、排便異常
肝臓がん	肝硬変症状(食欲不振、全身倦怠感、腹水、黄疸)
膵臓がん	早期症状なし。腹痛、食欲不振、体重減少、黄疸
白血病・悪性リンパ腫	発熱、易疲労感、出血症状、体重減少、リンパ節腫脹
子宮頸がん・子宮体がん	早期症状なし。不正性器出血、おりもの、月経異常
前立腺がん	早期症状なし。排尿困難、頻尿、残尿感、夜間頻尿

3. 70歳代男性患者が胆石症の治療目的で入院してきました。あなたは、入院時にアナムネをとっていると、患者から「この1週間、排便時に血が混じる便が見られる」と言われました。患者に対する関わりについて考えてみましょう。

下記、評価視点が含まれていれば評価する。

- ・排便時の血液の色について確認する（鮮紅色？暗赤色？タール便？）
- ・排便時に肛門に痛みが無いかどうかを確認する
- ・これまで検診などで便潜血陽性と言われたことがあるかどうか確認する
- ・家族に消化器系のがん患者がいたかどうかを確認する
- ・まずは便潜血検査が必要と伝え、医師にも報告する